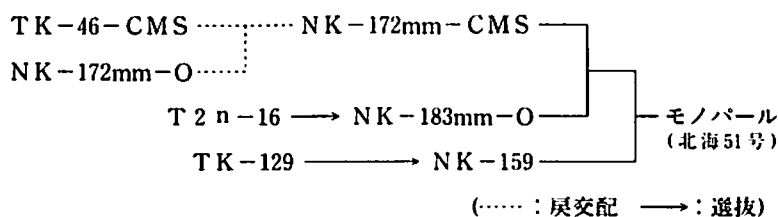


## II 特用作物

### 1. てんさい

- (1) モノパール (系統名 北海51号) 1988年  
 登録番号：(北海道) てんさい北海道交第22号  
 (農水省) てんさい農林交12号  
 (種苗法) 第2046号

来歴 本品種は、農林水産省北海道農業試験場において高糖多収品種を目標に育成された単胚、二倍体の三系交配一代雑種「(NK-172mm-CMS×NK-183mm-O)×NK-159」である。1983年より「N1220」、1984年からは「北海51号」の系統名で各種の試験を行い、1988年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



#### 特性概要

1. 葉姿は直立型、葉長は「モノヒカリ」並に長く、葉数はやや多い。クラウンは小さく、根部の形態は「モノヒカリ」と大差無く、根形は円錐形で露肩は中程度、分岐根は少ない。
2. 抽苔性は欧州品種よりやや劣るが「モノヒカリ」よりかなり優れている。
3. 褐斑病抵抗性はやや強で「モノミドリ」、「モノヒカリ」並である。根腐病抵抗性は「モノミドリ」、「モノヒカリ」及び欧州品種と同じ弱である。
4. 根重は「モノエース」、「ハイラーベ」より多く、「ダイヒル」とほぼ同程度である。

5. 根中糖分は「モノヒカリ」並で「ハイラーベ」、「ダイヒル」より高い。
6. 品質は「モノヒカリ」、「モノエース」より劣るが、「ハイラーベ」、「ダイヒル」より良品質で製糖歩留まりは良い。

#### 栽培適地と奨励態度

十勝中部及びこれに準ずる地域の「ハイラーベ」、「モノヒカリ」の一部におきかえて栽培する。栽培上の注意は、耐湿性がやや弱いので、湿害のおそれの多い畑は避ける。抽苔耐性はやや強であるが、まれに発生することがあるので極早播きを避ける。

試験場名	品種名	根重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根重	根中糖分	糖量	不純物価	
北海道農試	モノパール	5.42	16.39	889	107	100	108	104	1985~1987
	ハイラーベ	5.40	16.04	896	107	98	104	110	
	モノヒカリ	5.57	16.48	919	111	101	112	84	
	ダイヒル	5.41	16.25	877	116	99	106	105	
	モノエース	5.13	16.93	867	102	103	105	95	
	モノミドリ	5.05	16.35	825	100	100	100	100	
十勝農試	モノパール	6.28	17.68	1,111	109	101	109	98	1984~1987
	ハイラーベ	5.79	17.05	988	100	97	97	111	
	モノヒカリ	6.37	17.47	1,114	110	100	110	81	
	ダイヒル	6.35	17.19	1,092	110	98	108	115	
	モノエース	5.87	17.83	1,048	102	102	103	101	
	モノミドリ	5.87	17.55	1,015	100	100	100	100	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	モノパール	5.26	17.87	938	108	103	111	95	1984~1987
	ハイラーベ	5.29	17.26	912	109	99	108	119	
	モノヒカリ	5.17	17.96	928	106	103	110	75	
	ダイヒル	5.32	17.63	937	110	101	111	101	
	モノエース	5.02	18.23	915	103	105	108	101	
	モノミドリ	4.88	17.40	847	100	100	100	100	

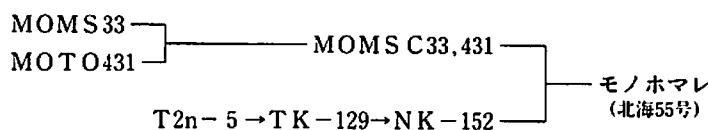
注 1) 北見農試の1984年と北海道農試の成績は直播栽培である。  
 2) 十勝農試と北見農試の不純物価は1986年~1987年の平均値である。

参照 1) 昭和63年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-21(1988)。  
 2) 北海道農業試験場研究報告, 第155号, 49-64(1991)。

(2) モノホマレ (系統名 北海55号) 1988年  
 登録番号: (北海道) てんさい北海道交第23号  
 (農水省) てんさい菜農林交13号  
 (種苗法) 第2047号

ンデルハーベ社の単胚雄性不稔「MOMSC33,431」を母, [NK-152]を父として交配を行い育成した単胚二倍体三系交配の一代雑種である。1983年より「NV104」, 1985年からは「北海55号」の系統名で各種の試験を行い, 1988年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

来歴 本品種は農林水産省北海道農業試験場において, 高糖多収品種の育成を目標として, オランダのファ



特性概要

1. 葉姿は直立型で葉色はやや濃緑, 葉形は針形で葉柄の太さはやや細い。根元の形態は円錐型で, 側根を生じる溝が深く, 分枝根は少ない。
2. 抽苔耐性は「ハイラーベ」並の強である。
3. 褐斑病抵抗性はやや強で「ハイラーベ」より優れている。根腐病抵抗性は「モノヒカリ」, 「モノミドリ」及び「ハイラーベ」等の欧州品種と同じく弱い。
4. 耐湿性は「ダイヒル」より強いが, 他の品種より弱い。

5. 根重は「ハイラーベ」より多収である。
6. 根中糖分は「モノヒカリ」に近く「ハイラーベ」より高糖である。
7. 品質は「モノヒカリ」より劣るが「ハイラーベ」よりまさる。

栽培適地と奨励態度

網走内陸・沿海, 十勝山麓及びこれに準ずる地域の「ハイラーベ」におきかえて栽培する。栽培上の注意は, 耐湿性がやや弱いので, 湿害の多い畑は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	モノホマレ	5.27	17.46	920	109	102	111	95	1985~1987
	ハイラーベ	5.28	17.08	901	108	99	108	119	
	モノヒカリ	5.14	17.82	915	106	104	110	75	
	モノミドリ	4.88	17.13	835	100	100	100	100	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	モノホマレ	6.43	17.55	1,129	109	100	109	103	1985~1987
	ハイラーベ	5.97	17.13	1,024	102	98	99	111	
	モノヒカリ	6.57	17.57	1,155	111	100	112	81	
	モノミドリ	5.89	17.52	1,032	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部編, 昭和63年普及奨励ならびに指導参考事項, 21-24(1988)。  
 2) 北海道農業試験場報告, 第155号, 65-80(1991)。

(3) スターヒル (系統名 HILL monol352) 1988年  
 登録番号: (北海道) てんさい輸交第24号

来歴 本品種は1979年にスウェーデンのヒレスヘーグ種子会社が二倍体の単胚雄性不稔系統「MS-236D」と、二倍体多胚花粉親系統「2X/27」とを交配し育成したもので、1980年に北海道糖業株式会社が輸入し、1981年から「Hillmonol352」の系統名で各種の試験を行い、1988年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉長は「ダイヒル」と同程度、葉姿は「ダイヒル」と同様にやや開平であるが、「ハイラーベ」よりは立っている。根形は円錐形で分岐根は少ない。
2. 抽苔耐性は「ハイラーベ」と同様に強く、当年抽苔することはほとんどない。
3. 褐斑病に対しては、「ダイヒル」同様に弱く、その他の病害についても「ダイヒル」との差はほとんどない。

4. 根重は「ダイヒル」よりやや劣り「ハイラーベ」並であり、根中糖分は「ダイヒル」よりもやや高く、「ハイラーベ」よりも高い。

5. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「ダイヒル」より高いが、カリウム、ナトリウムは「ダイヒル」よりも低い。このため不純物価は低く、品質は「ダイヒル」や「ハイラーベ」よりも優っている。

6. 過湿条件における「スターヒル」の根部腐敗度は「ダイヒル」よりも低く、耐湿性は「ダイヒル」よりも強く、「ハイラーベ」並である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適応し、「ダイヒル」や「ノバヒル」及び「モノヒル」の一部におきかえて栽培する。栽培上の注意は、根中糖分の低下や有害性非糖分の増加を招く多肥栽培は避ける。「ダイヒル」と同様に褐斑病に弱いので適期防除に留意する。その他の栽培法は「ダイヒル」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	スターヒル	6.07	17.38	1,058	104	99	103	103	1984~1987
	ダイヒル	6.34	17.27	1,096	109	99	107	109	
	ハイラーベ	5.87	17.08	1,003	101	97	98	112	
	モノミドリ	5.84	17.52	1,023	100	100	100	100	
北 見 農 試	スターヒル	5.15	17.66	910	109	102	111	99	1984~1987
	ダイヒル	5.30	17.44	922	112	101	113	108	
	ハイラーベ	5.13	17.14	879	109	99	108	113	
	モノミドリ	4.72	17.33	817	100	100	100	100	
中 央 農 試	スターヒル	6.47	16.56	1,064	106	103	109	97	1985~1987
	ダイヒル	6.79	16.01	1,080	111	99	111	105	
	ハイラーベ	6.77	16.25	1,096	111	101	113	94	
	モノミドリ	6.10	16.14	974	100	100	100	100	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
上 川 農 試	ス タ ー ヒ ル	5.24	18.74	980	113	101	114	101	1986~1987
	ダ イ ヒ ル	5.27	18.37	966	113	99	112	108	
	ハ イ ラ ー ベ	4.88	18.34	894	105	99	104	111	
	モ ノ ミ ド リ	6.65	18.57	863	100	100	100	100	

注 1) 中央農試の不純物価は1986年~1987年の成績。

2) 北見農試の1984年の成績は直播栽培による。

参照 1) 北海道農務部報, 昭和63年普及奨励ならびに指導参考事項, 30-31(1988)。

(4) サンヒル (系統名 Hill mono5559) 1988年  
登録番号: (北海道) てんさい輸交第25号

来歴 本品種は1983年にスウェーデンのヒレスヘーグ種子会社が二倍体の単胚雄性不稔系統「MS-283E」と、四倍体多胚花粉親系統「4X/7」とを交配し育成した三倍体単胚の一代雑種であり、1984年に北海道糖業株式会社が入力し、1985年から「Hillmono5559」の系統名で各種の試験を行い、1988年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平型、葉長は「ダイヒル」並でやや短く、葉数は中程度である。根形は円錐形、露肩は少で分岐根は少ない。
2. 根重は「ダイヒル」よりやや劣り「モノエース」並で、根中糖分は「ダイヒル」より高く、「モノエース」に近い高糖性を示す。

3. 有害性非糖分のアミノ態窒素は「モノミドリ」よりやや低く、カリウムは「モノミドリ」並で、ナトリウムは「モノミドリ」より低く良質である。

4. 抽苔耐性は既存のヨーロッパ品種と同様に強く、当年抽苔することはほとんどない。

5. 耐病性は、褐斑病に対しては「ダイヒル」と同様に弱く、その他の病害についても「ダイヒル」との差はほとんどない。

6. 耐湿性は「ダイヒル」より強く、「ハイラーベ」並である。

栽培適地と奨励態度

十勝及び網走地域に適応する。栽培上の注意は、褐斑病に弱いので適期防除を行う。根中糖分の低下や有害非糖分を増加させる多肥栽培は避ける。その他の栽培は「モノエース」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	サ ン ヒ ル	4.75	17.49	832	109	105	115	97	1985~1987
	ダ イ ヒ ル	5.24	17.34	907	121	101	121	111	
	モ ノ エ ース	4.67	17.35	811	107	104	112	101	
	ハ イ ラ ー ベ	4.84	16.50	799	111	99	110	118	
	モ ノ ミ ド リ	4.35	16.66	724	100	100	100	100	
十 勝 農 試	サ ン ヒ ル	5.91	17.86	1,058	105	102	107	99	1985~1987
	ダ イ ヒ ル	6.81	17.74	1,208	113	100	113	105	
	モ ノ エ ース	5.85	18.08	1,062	104	103	107	98	
	ハ イ ラ ー ベ	5.91	17.24	1,021	105	98	103	106	
	モ ノ ミ ド リ	5.62	17.56	989	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部報, 昭和63年普及奨励ならびに指導参考事項, 32-35(1988)。

(5) サンラーベ (系統名 H6664) 1988年  
登録番号：(北海道) てんさい輸交第26号

来歴 本品種は1981年オランダのファンデルハーベ種子会社において、二倍体の単胚雄性不稔系統「MOMS 023・801」と四倍体の多胚花粉親系統「EKT13」とを交配し育成した三倍体、単胚の一代雑種であり、1983年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、1984年から「H6664」の系統名で各種の試験を行い、1988年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉長は「ハイラーベ」に比べやや長く、葉姿はやや開平であり、根形は円錐型で分岐根は少ない。
2. 「ハイラーベ」同様に抽苔耐性は強く、当年抽苔することはほとんどない。
3. 褐斑病に対しては「ハイラーベ」同様に弱であり、

その他の病害についても「ハイラーベ」との差はほとんどない。

4. 根重は「ハイラーベ」より多く、「モノヒカリ」並である。
5. 根中糖分は「ハイラーベ」並かつ高く「モノミドリ」よりわずかに劣る。
6. 有害性非糖分は「ハイラーベ」並であり、品質は「モノミドリ」に比べやや劣る。

栽培適地と奨励態度

十勝中部・山麓、網走内陸・沿海及びこれに準ずる地域に適應し、当該地域の「ハイラーベ」とおきかえて栽培する。栽培上の注意は、根中糖分の低下や有害非糖分の増加を招く多肥栽培は避ける。「ハイラーベ」と同様褐斑病に弱いので適期防除に留意する。その他の栽培法は「ハイラーベ」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	サンラーベ	6.33	17.26	1,095	111	99	110	108	1984~1987
	ハイラーベ	5.86	17.07	1,001	103	98	101	109	
	モノヒカリ	6.42	17.50	1,124	112	101	113	87	
	モノミドリ	5.71	17.39	994	100	100	100	100	
北 見 農 試	サンラーベ	5.50	17.55	964	117	100	118	111	1984~1987
	ハイラーベ	5.13	17.20	881	109	98	108	113	
	モノヒカリ	5.04	18.16	914	107	104	112	75	
	モノミドリ	4.69	17.47	819	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部編, 昭和63年普及奨励ならびに指導参考事項, 24-25(1988)。

(6) モノエースS (系統名 Kawe-J 338) 1988年  
登録番号：(北海道) てんさい輸交第27号

来歴 本品種は1981年に西ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体の単胚雄性不稔系統「2A 0079」と、四倍体の多胚花粉親系統「9X0022」とを交配し育成した三倍体、単胚一代雑種で、1982年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、1983年から「Kawe-J 338」の系統名で各種の試験を行い、1988年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉長は「モノエース」とほぼ同程度で、葉姿はやや開平であり、根形は円錐型で分岐根は少ない。
2. 抽苔耐性は「ハイラーベ」と同様に強く、当年抽苔することはほとんどない。

3. 褐斑病に対しては、「モノエース」同様に弱く、その他の病害についても「モノエース」との差はほとんどない。

4. 根重はほぼ「モノエース」並で、根中糖分は「モノエース」よりやや高い。
5. 有害性非糖分はアミノ態窒素、カリウムは「モノエース」よりやや高いが、ナトリウムは「モノエース」より低く、不純物価は「モノエース」並で良質である。

栽培適地と奨励態度

道央南部、道南を除く全道一円に適應し、「カーベメガモノ」、「モノエース」の一部におきかえて栽培する。栽培上の注意は、根中糖分の低下や有害非糖分の増加を招く多肥栽培は避ける。「モノエース」と同様に褐斑病に弱いので適期防除に留意する。その他の栽培法は「モノエース」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	モノエース S	5.52	18.12	1,002	101	104	106	100	1983~1987
	モノエース	(6.16)	(17.80)	(1,098)	(103)	(102)	(105)	(100)	
	ハイラーベ	5.59	17.05	953	103	98	101	109	
	モノミドリ	5.44	17.36	945	100	100	100	100	
北 見 農 試	モノエース S	4.52	18.27	826	103	105	109	100	1983~1987
	モノエース	(4.88)	(17.77)	( 866)	(104)	(104)	(109)	( 94)	
	ハイラーベ	4.79	17.06	818	110	98	108	113	
	モノミドリ	4.37	17.32	757	100	100	100	100	
上 川 農 試	モノエース S	5.14	19.01	972	105	105	109	96	1985~1987 1987
	モノエース	5.18	18.63	961	106	102	108	94	
	ハイラーベ	5.18	17.82	919	106	98	103	114	
	モノミドリ	4.96	16.70	826	100	100	100	100	

注 1) 十勝、北見農試の「モノエース」の成績は1985年~1987年の平均。  
 2) 不純物価は十勝と北見農試は1984年~1987年平均、上川農試は1985年~1987年平均。

参照 1) 北海道農務部編, 昭和63年普及奨励ならびに指導参考事項, 26-27(1988)。

(7) メガエース (系統名 Kawe-J 537) 1988年  
 登録番号: (北海道) てんさい輸交第28号

来歴 本品種は1983年に西ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体の単胚雄不稔系統「1 A 0069」と、四倍体の多胚花粉親系統「P S 54177」とを交配し育成した三倍体、単胚一代雑種で、1984年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、1985年より「MC 84-08」、1986年からは「Kawe-J 537」の系統名で各種の試験を行い、1988年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉長は「モノミドリ」とほぼ同程度で、葉姿はやや開平であり、根形は円錐型で分岐根は少ない。
2. 抽苔耐性は「モノエース」と同様に強く、当年抽苔することはほとんどない。
3. 褐斑病に対しては、「モノエース」同様に弱く、その

他の病害についても「モノエース」との差はほとんどない。

4. 根重は「モノエース」より多く、「モノヒカリ」と同程度かやや優り、根中糖分は「モノエース」より低く「モノミドリ」並かやや高い。
5. 有害性非糖分はアミノ態窒素、カリウム、ナトリウムとも「モノミドリ」よりやや高く、不純物価は「モノミドリ」よりやや高い。

栽培適地と奨励態度

道央中部・北部、十勝中部、網走内陸及びこれに準ずる地域に適應し、「カーベメガモノ」、「モノエース」の一部におきかえて栽培する。栽培上の注意は、根中糖分の低下や有害非糖分の増加を招く多肥栽培は避ける。「モノエース」と同様に褐斑病に弱いので適期防除に留意する。その他の栽培法は「モノエース」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	メガエース	6.52	17.46	1,139	116	99	115	106	1985~1987
	モノエース	5.87	18.08	1,062	104	103	107	98	
	モノヒカリ	6.43	17.61	1,135	114	100	115	88	
	モノミドリ	5.62	17.56	989	100	100	100	100	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 兄 農 試	メガエース	5.21	16.99	887	120	102	123	106	1985~1987
	モノエース	4.67	17.35	811	107	104	112	101	
	モノヒカリ	4.80	17.39	835	110	104	115	76	
	モノミドリ	4.35	16.66	724	100	100	100	100	
中 央 農 試	メガエース	6.66	16.86	1,119	118	99	116	110	1986~1987
	モノエース	5.97	17.51	1,043	106	103	109	96	
	モノヒカリ	6.47	17.42	1,126	115	102	117	85	
	モノミドリ	5.64	17.06	961	100	100	100	100	
上 川 農 試	メガエース	5.26	18.69	982	113	101	114	103	1986~1987
	モノエース	4.85	19.00	920	104	102	107	94	
	モノヒカリ	5.33	18.53	987	115	100	114	88	
	モノミドリ	4.65	18.57	863	100	100	100	100	

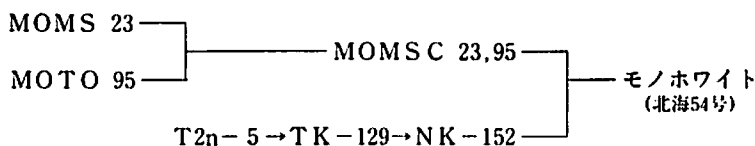
参照 1) 北海道農務部編, 昭和63年普及奨励ならびに指導参考事項, 28-29(1988)。

(8) モノホワイト (系統名 北海54号) 1989年

登録番号: (北海道) てんさい北海道交第29号  
(農水省) てんさい農林交14号  
(種苗法) 第2345号

雄性不稔系統 (ホクレン農業協同組合連合会を通じて導入) と, 北海道農業試験場育成の多胚花粉親系統を交配して育成した単胚二倍体の一代雑種である。1984年より「NV101」, 1985年からは「北海54号」の系統名で各種の試験を行い, 1989年優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

来歴 本品種は, 1981年に農林水産省北海道農業試験場においてオランダのバンデルハーベ社の保持する単胚



特性概要

1. 二倍体単胚一代雑種で, 葉姿は直立, 葉形は皮針形, 葉身はやや小さく, 葉柄はやや細い。根形はやや短円錐形を示し, 「モノホマレ」及び「モノヒカリ」の円錐形と異なる。
2. 抽苔は「モノヒカリ」より少なく, 「モノホマレ」並である。
3. 褐斑病抵抗性は弱で「モノホマレ」及び「モノヒカリ」より弱い。根腐病抵抗性は「モノホマレ」及び「モノヒカリ」と同じ弱である。そう根病の軽度の発生圃

場では「モノヒカリ」並の耐性を示す。

4. 耐湿性は「モノヒカリ」より若干弱い, 「モノホマレ」よりやや強い。
5. 根重は「モノホマレ」及び「モノヒカリ」より少なく, 根中糖分は現行品種中最も高い。
6. 品質は「モノヒカリ」に次いで良好である。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適応する。栽培上の注意は, 道東及び道北の一部沿海地域では, まれに当年抽苔の発生することがあるので, 極端な早まき育苗を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北海道農試	モノホワイト	5.64	17.07	963	94	104	97	93	1985~1987
	ハイラーベ	5.81	16.19	941	97	98	96	108	
	モノヒカリ	6.10	16.58	1,012	102	101	102	83	
	モノホマレ	6.03	16.52	997	100	100	100	100	
北 見 農 試	モノホワイト	5.18	18.38	955	92	104	96	90	1985~1987
	ハイラーベ	5.54	17.35	961	98	98	96	118	
	モノヒカリ	5.57	17.95	1,001	98	102	100	77	
	モノホマレ	5.66	17.63	999	100	100	100	100	
十 勝 農 試	モノホワイト	5.90	18.24	1,078	93	93	104	95	1985~1987
	ハイラーベ	6.00	17.20	1,032	94	94	99	110	
	モノヒカリ	6.46	17.60	1,137	101	101	101	85	
	モノホマレ	6.37	17.58	1,120	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農政部編, 平成元年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-25(1989)。  
2) 北海道農業試験場報告, 第155号, 81-99(1991)。

#### (9) エ マ (系統名 HT-1) 1990年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第30号

**来歴** 本品種はスウェーデンのヒレスヘッグ種子会社が、二倍体の単胚細胞質雄性不稔系統「MS-257D」と、二倍体の多胚花粉親系統「2X/32」をとを交配し育成したそう根病圃場抵抗性を有する二倍体、単胚の一代雑種である。1986年に北海道糖業株式会社が輸入し、1987年より「Hillmonol168」、1988年からは「HT-1」の系統名で各種の試験を行い、1990年に優良品種となった。

#### 特性概要

1. 葉長は「モノミドリ」と同程度で、葉色は緑、葉形はやや皮針で、葉姿はやや直立である。クラウンは小さく、露肩が少なく、根形は短円錐で分岐根が少ない。肉質はやや軟らかい。
2. 抽苔耐性は既存のヨーロッパ系輸入品種並に強く、当年抽苔することはほとんどない。
3. そう根病の圃場抵抗性は「モノミドリ」より強く、褐斑病抵抗性は「スターヒル」並の弱であり、耐湿性は既存の品種と同様に弱である。
4. 根重は健全圃場では、「モノミドリ」より多く、「スターヒル」、「モノエース」より少ない。そう根病発病圃場では「モノミドリ」に比べ、少程度の発病圃場で

9~29%、中程度で38~42%多い。

5. 根中糖分は健全圃場では、「モノミドリ」、「スターヒル」より高く、「モノエース」並の高糖分品種に属する。そう根病発病圃場では「モノミドリ」にくらべ、少程度の発病圃場で29~44%、中程度で34~37%高い。
6. 有害性非糖分は、健全圃場でアミノ態窒素が「モノミドリ」、「モノエース」より高く、カリウムが同程度、ナトリウムがやや低く、不純物価がやや高い。そう根病発病圃場では、カリウムとナトリウムが相対的に低くなり、不純物価は少以下の発病圃場で「モノミドリ」よりやや少なく、中以上の発病圃場では「モノミドリ」より明らかに低い。

#### 栽培適地と奨励態度

全道のそう根病発生地帯に適應する。栽培上の注意は、「エマ」はそう根病圃場抵抗性を有するが、前回作付けした圃場の発病程度を十分に考慮して、汚染程度が高いと思われる圃場では栽培を避ける。既存の品種と同様に耐湿性は弱いので、過湿になりやすい圃場での栽培は避ける。褐斑病に対しては強度の抵抗性を有していないので適期防除に留意する。根中糖分の低下や有害非糖分の増大を招くので多肥栽培は避ける。その他の栽培法は「スターヒル」に準ずる。



試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	エ マ	5.92	18.22	1,080	107	104	112	108	1987~1989
	ス タ ー ヒ ル	6.17	17.90	1,106	112	102	114	107	
	モ ノ エ ース	5.97	17.84	1,065	108	102	110	101	
	モ ノ ミ ドリ	5.51	17.55	966	100	100	100	100	
十 勝 農 試	エ マ	6.02	18.02	1,086	102	104	106	105	1987~1989
	ス タ ー ヒ ル	6.45	17.58	1,134	109	101	110	100	
	モ ノ エ ース	6.21	17.69	1,099	105	102	107	101	
	モ ノ ミ ドリ	5.90	17.41	1,027	100	100	100	100	
中 央 農 試	エ マ	6.63	16.82	1,113	101	101	103	104	1987~1989
	ス タ ー ヒ ル	6.87	16.68	1,143	105	100	106	100	
	モ ノ エ ース	7.21	16.73	1,199	110	101	111	104	
	モ ノ ミ ドリ	6.55	16.61	1,083	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農政部編, 平成2年普及奨励ならびに指導参考事項, 25-27(1990)。

(10) リゾール (系統名 SESIR2) 1990年  
登録番号: (北海道) てんさい輸交第31号

**来歴** 本品種は、1984年にベルギーのヨーロッパ種子会社が、二倍体の単胚細胞質雄性不稔系統「MS-24-6」と、二倍体多胚の花粉親系統「4-21775」を交配して育成したそう根病圃場抵抗性を有する二倍体の単胚一代雑種である。1985年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、1986年から「SESIR2」の系統名で各種の試験を行い、1990年に優良品種となった。

**特性概要**

1. 草丈は「モノミドリ」とほぼ同程度で、葉姿はやや直立である。葉数はやや多く、葉身はやや小さい。クラウンは小さく、根形は円錐形で、根長がやや短く、分岐根は少ない。
2. 抽苔耐性は既存のヨーロッパ系輸入品種と同様強く、当年抽苔することはほとんどない。
3. そう根病圃場抵抗性は、現在検定試験に供試されている品種系統の中で最も強い。褐斑病抵抗性は「モノミドリ」よりやや弱い。既存のヨーロッパ系輸入品種より強く、抵抗性は中である。
4. 耐湿性は既存の品種と同様に弱である。
5. 根重は健全圃場では「モノミドリ」より多く、「モノエース」と同程度かやや劣る。そう根病圃場では

「モノミドリ」に比べ、少程度の発病圃場では9~20%、中程度では90~92%根重が多い。

6. 根中糖分は健全圃場では「モノミドリ」よりやや低い。そう根病圃場では「モノミドリ」に比べ、少程度の発病圃場では17~40%、中程度では34~36%根中糖分が高い。

7. 有害性非糖分は、健全圃場では「モノミドリ」や「モノエース」に比べアミノ態窒素、カリウムが高いが、ナトリウムは低い。不純物価は「モノミドリ」や「モノエース」より高い。そう根病圃場では、カリウムとナトリウムが相対的に低くなり、不純物価は、少以下の発病圃場では「モノミドリ」よりやや高いが、中以上の発病圃場では「モノミドリ」より明らかに低い。

**栽培適地と奨励態度**

全道のそう根病発生地帯に適應する。栽培上の注意は、「リゾール」はそう根病圃場抵抗性を有するが、前回は付けた圃場の発病程度を十分に考慮して、汚染程度が高いと思われる圃場では栽培を避ける。既存の品種と同様に耐湿性は弱いので、過湿になりやすい圃場での栽培は避ける。褐斑病に対しては強度の抵抗性を有していないので適期防除に留意する。根中糖分の低下や有害性非糖分の増大を招くので多肥栽培は避ける。その他の栽培法は「モノエース」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	リゾール	6.20	17.12	1,061	105	98	103	118	1986~1989
	モノエース	6.18	17.83	1,101	105	102	107	99	
	モノミドリ	5.88	17.50	1,029	100	100	100	100	
北 見 農 試	リゾール	5.65	17.07	962	109	98	107	117	1986~1989
	モノエース	5.63	17.92	1,007	109	103	112	99	
	モノミドリ	5.16	17.48	901	100	100	100	100	

参照 北海道農政部編, 平成2年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-24(1990)。

(II) リゾホート (系統名 H4612) 1991年  
登録番号: (北海道) てんさい輸交第32号

**来歴** 本品種は1983年にオランダのバンデルハーベ種子会社が、二倍体単胚の細胞質雄性不稔系統「MOMS RM25・38」と、二倍体多胚の花粉親系統「RT46-1」とを交配し育成したそう根病圃場抵抗性を有する二倍体、単胚の一代雑種である。1986年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、1987年から「H4612」の系統名で各種の試験を行い、1991年に優良品種となった。

#### 特性概要

1. 葉姿がやや直立型であり、葉形は皮針、葉長は「モノホマレ」より短く「モノミドリ」と同程度の中である。クラウンは小さく、根形は円錐形で分岐根は少ない。
2. 抽苔耐性は既存のヨーロッパ系輸入品種と同様に強く、耐湿性は「モノミドリ」、「モノホマレ」のやや弱に対して弱である。
3. そう根病の圃場抵抗性は強、褐斑病抵抗性は「モノミドリ」並で、既存のヨーロッパ系輸入品種に優りやや強である。
4. 根重は健全圃場では「モノミドリ」より多く、「モノ

ホマレ」より少ない。そう根病発病圃場では「モノミドリ」に比べ、少程度の発病圃場で96~151% (平均128%)、中程度では153~179% (平均168%) の指数を示す。

5. 根中糖分は健全圃場では「モノミドリ」、「モノホマレ」より低い。そう根病発病圃場では「モノミドリ」に比べ、少程度の発病圃場で114~140% (平均124%)、中程度で132~211%で平均160%の指数を示す。

6. 健全圃場ではアミノ態窒素とカリウムが「モノミドリ」、「モノホマレ」より高く、ナトリウムが低い。不純物価はやや高い。そう根病発病圃場でもアミノ態窒素は減少量が少なく、相対的に高くなる。不純物価は少以下の発病圃場で「モノミドリ」よりやや高く、中以上では糖分の低下が少ないため明らかに低い。

#### 栽培適地と奨励態度

全道のそう根病発生地帯に適應する。栽培上の注意は、「リゾホート」はそう根病圃場抵抗性を有するが、前回は作付けした圃場の発病程度を十分に考慮して、汚染程度が高いと思われる圃場では栽培を避ける。耐湿性は弱いので、過湿になりやすい圃場での栽培は避け、その他の肥培管理は「モノホマレ」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノミドリ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
中 央 農 試	リゾホート	7.52	16.44	1,237	99	101	100	106	1989~1990
	モノホマレ	8.19	16.22	1,327	108	100	107	106	
	モノミドリ	7.61	16.26	1,237	100	100	100	100	
上 川 農 試	リゾホート	6.06	17.02	1,030	107	98	105	118	1989~1990
	モノホマレ	6.30	17.56	1,107	111	101	113	100	
	モノミドリ	5.66	17.39	983	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農政部編, 平成3年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14(1991)。

(12) メロディー (系統名 H114) 1991年  
登録番号：(北海道) てんさい輸交第33号

来歴 本品種は1986年にオランダのバンデルハーベ種子会社が、二倍体雄性不稔系統「MOMS105・859」に四倍体多胚系統「T947/6」を花粉親として交配し育成した三倍体、単胚の一代雑種である。1987年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、同年から各種の試験を行い、1991年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平で、葉長がやや短く、葉形は楕円形である。葉数は中で「モノホマレ」より少なく、葉身の大きさは中で、「モノホマレ」より大きい。
2. 根重は「モノエース」、「スターヒル」より多く、「モノホマレ」並かやや少ない。根中糖分は「モノホマレ」より高く、「モノエース」、「スターヒル」並かやや高い。
3. 有害性非糖分はアミノ態窒素、カリウムが「モノホ

マレ」より低く、ナトリウムが「モノホマレ」よりかなり低い。不純物価は「モノエース」、「スターヒル」より低く、品質は良好である。

4. 抽苔耐性は「モノホマレ」並の強、耐湿性は「モノホマレ」、「モノエース」、「スターヒル」並のやや弱である。
5. 褐斑病に対する抵抗性は「スターヒル」、「モノエース」並の弱であり、他の病害については「モノホマレ」、「モノエース」、「スターヒル」との差はない。

栽培適地と奨励態度

北海道十勝・網走地域及びこれに準ずる地帯に適應する。栽培上の注意は、排水の劣る圃場では根重及び根中糖分が低下する場合がある。褐斑病に対する抵抗性は弱なので適期防除に留意する。多肥栽培は、根中糖分の低下や有害性非糖分の増加を招くだけでなく、根重も減収することがあるので、北海道施肥標準を守る。その他の栽培法は「モノホマレ」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	メロディー	6.57	17.20	1,127	101	102	103	94	1988~1990
	モノエース	6.17	17.07	1,052	95	101	96	93	
	スターヒル	6.50	17.09	1,108	100	101	101	96	
	モノホマレ	6.50	16.85	1,093	100	100	100	100	
北 見 農 試	メロディー	6.71	17.87	1,197	98	102	100	91	1988~1990
	モノエース	6.32	17.62	1,114	92	101	93	91	
	スターヒル	6.66	17.77	1,182	97	101	99	95	
	モノホマレ	6.84	17.51	1,196	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農政部編, 平成3年普及奨励ならびに指導参考事項, 15-17(1991)。

(13) ハンナ (系統名 HT3) 1991年  
登録番号：(北海道) てんさい輸交第34号

来歴 本品種は1985年にスウェーデンのヒレスヘック種子会社が、二倍体単胚雄性不稔系統「MS-289-0」と、二倍体多胚花粉親系統「2X/20」の交配により育成した二倍体単胚の一代雑種である。1987年に北海道糖業株式会社が輸入し、各種の試験を行い1991年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉長は「スターヒル」と同程度で、葉色は緑、葉形がやや皮針で、葉姿がやや開平型である。クラウンは小さく、露肩は中で、根形は短円錐形で分岐根が少ない。

2. 根重は「モノホマレ」、「スターヒル」より劣り、「モノエースS」並である。
3. 根中糖分は「モノホマレ」、「スターヒル」より高く、「モノエースS」に近い高糖性を示す。
4. 褐斑病に対しては「スターヒル」同様に弱く、その他の病害についても「スターヒル」との差はほとんどない。
5. 抽苔耐性は「モノホマレ」、「スターヒル」と同様に強く、当年抽苔することはほとんどない。
6. 有害性非糖分は、アミノ態窒素とカリウムが「モノホマレ」、「スターヒル」、「モノエースS」よりやや低く、ナトリウムが「モノホマレ」、「モノエースS」よりかなり低く「スターヒル」並である。また不純物価は「モノホマレ」、「モノエースS」、「スターヒル」よ

り低く、品質は良好である。

7. 耐湿性は「スターヒル」、「モノエースS」より強い。

**栽培適地と奨励態度**

道央、道南地域及びこれに準ずる地帯に適應する。栽

培上の注意は、根中糖分や品質を低下させる多肥栽培は避ける。「スターヒル」と同様に褐斑病に弱いので、適期防除に留意する。その他の栽培法は「スターヒル」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
中央農試	ハ ン ナ	7.58	17.03	1,291	93	105	97	87	1988~1990
	スターヒル	7.92	16.65	1,321	97	102	100	94	
	モノエースS	7.57	17.18	1,302	93	106	98	93	
	モノホマレ	8.16	16.26	1,327	100	100	100	100	
北海道農試	ハ ン ナ	6.71	17.16	1,152	90	103	93	93	1988~1990
	スターヒル	7.04	17.11	1,205	95	102	97	98	
	モノエースS	6.43	17.40	1,118	89	105	93	94	
	モノホマレ	7.42	16.72	1,242	100	100	100	100	

注) 北海道農試の「モノエースS」は1989年~1990年の平均値。

参照 1) 北海道農政部編, 平成3年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-20(1991)。

(14) アレグロ (系統名 H116) 1993年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第35号

**来歴** 本品種は1986年にオランダのバンデルハーベ種子会社が、二倍体雄性不稔系統「MOMS52,89」に四倍体多胚系統「T. 6/14」を花粉親として交配し育成した三倍体、単胚の一代雑種である。1987年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し各種の試験を行い、1993年に優良品種となった。

**特性概要**

1. 草丈は「モノホワイト」よりやや低く、葉姿は開平である。葉数は「モノホワイト」と同程度で、葉形は楕円、葉身は「モノホワイト」よりやや大きく、葉柄長はやや短い。クラウンは「モノホワイト」よりやや大きく、根形は円錐形で分岐根は少ない。
2. 根重は「モノホワイト」より多く、「モノホマレ」より少ない。

3. 根中糖分は「モノホワイト」に近い高糖分で、「モノホマレ」より高い。
4. 有害性非糖分はアミノ態窒素が「モノホワイト」より低く、カリウムは「モノホワイト」よりやや高く、ナトリウムは「モノホワイト」より高い。不純物価は「モノホワイト」並である。
5. 抽苔耐性は既存のヨーロッパ系輸入品種と同様に強である。
6. 褐斑病抵抗性は「モノホワイト」並の弱である。
7. 耐湿性は「モノホワイト」並のやや弱である。

**栽培適地と奨励態度**

北海道一円に適應する。栽培上の注意は、褐斑病に対する抵抗性は弱なので、適期防除に留意する。多肥栽培は、根中糖分の低下や有害性非糖分の増加を招くので、北海道施肥標準を守る。その他の栽培法は「モノホワイト」、「モノホマレ」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十勝農試	アレグロ	6.34	17.75	1,122	96	104	100	90	1990~1994
	モノホワイト	6.18	17.88	1,101	94	105	98	90	
	モノホマレ	6.60	17.05	1,123	100	100	100	100	
北見農試	アレグロ	6.14	18.56	1,135	95	102	97	91	1990~1994
	モノホワイト	5.89	18.85	1,109	91	104	95	85	
	モノホマレ	6.46	18.13	1,168	100	100	100	100	

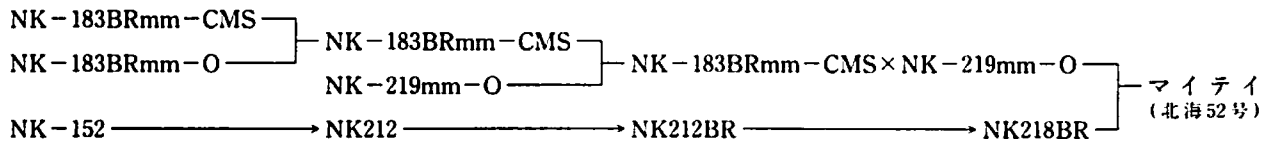
試験場名	品種名	根重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根重	根中糖分	糖量	不純物価	
中央農試	アレグロ	8.89	17.76	1,581	101	106	107	90	1990～1994
	モノホワイト	8.22	17.58	1,447	93	105	98	88	
	モノホマレ	8.80	16.76	1,477	101	100	100	100	
上川農試	アレグロ	6.13	19.12	1,172	101	104	105	89	1990～1994
	モノホワイト	5.81	19.03	1,104	95	104	99	92	
	モノホマレ	6.09	18.38	1,117	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農政部編, 平成5年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-25(1993)。

(15) マイテイ (系統名 北海62号) 1994年  
 登録番号: (北海道) てんさい北海道交第36号  
 (農水省) てんさい農林交15号

系統「NK-1838mm-CMS× NK-219mm-O」に、  
 多胚二倍体花粉親系統「NK-218RB」を交配し育成した  
 単胚二倍体の三系交配一代雑種である。1990年より「K  
 1140」, 1991年からは「北海62号」の系統名で各種の試験  
 を行い、1994年に優良品種となった。なお、本品種の系  
 譜は次のとおりである。

来歴 本品種は農林水産省北海道農業試験場におい  
 て、高糖分、高品質、多収を目標に単胚二倍体雄性不稔



特性概要

1. 葉姿は直立型で葉長はやや長く「モノホマレ」と同じである。葉数は多く、葉形は「モノホマレ」と同じく皮針形で「モノエースS」(楕円形)とは明確に区別される。
2. 根重は「モノホマレ」より多く多収性で、根中糖分は「モノホマレ」並、糖量は「モノホマレ」より多い。品質は「モノホワイト」より劣るが、「モノホマレ」よりやや良い。

3. 抽苔性は「モノホマレ」, 「モノホワイト」並で少なく、耐湿性は「モノホマレ」並でやや弱い。
4. 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」並のやや弱、根腐病抵抗性は「モノホマレ」並に弱い。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適応する。栽培上の注意は、耐湿性がややよわいので、湿害の恐れが多い地帯は避ける。抽苔性は少であるが、まれに発生することがあるので極端な早播きを避ける。その他の栽培法は「モノホマレ」に準ずる。

試験場名	品種名	根重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根重	根中糖分	糖量	不純物価	
北海道農試	マイテイ	7.24	17.12	1,239	103	101	103	95	1991～1993
	モノホマレ	7.05	17.05	1,199	100	100	100	100	
	モノホワイト	6.41	17.80	1,140	91	105	95	88	
	モノエースS	6.31	17.94	1,116	88	105	93	95	
十勝農試	マイテイ	6.30	17.98	1,129	106	100	106	94	1991～1993
	モノホマレ	5.94	18.00	1,069	100	100	100	100	
	モノホワイト	5.60	18.69	1,042	94	104	98	91	
	モノエースS	5.55	18.93	1,048	93	105	98	89	

参照 1) 北海道農政部編, 平成6年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-25(1994)。

(16) サラ (系統名 HT 7) 1994年

登録番号：(北海道) てんさい輸交37号

来歴 本品種はスウェーデンのヒレスヘッグ種子会社が、二倍体雄性不稔系統「MS-298-E」に四倍体多胚花粉親系統「4X/6」を交配し、1889年に育成した三倍体単胚の一代雑種である。1990年に北海道糖業株式会社が輸入し、1991年から各種の試験を行い、1994年に優良品種となった。

特性概要

1. 草丈は「スターヒル」よりやや低く、葉姿はやや開平である。葉数は「スターヒル」より少なく、葉形はやや皮針、葉身の大きさは「スターヒル」とほぼ同程度で、葉柄長はやや短い。

2. 根重は「スターヒル」並で、根中糖分は「スターヒル」より高い。
  3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「スターヒル」より低く、カリウムは「スターヒル」よりやや低く、ナトリウムは「スターヒル」並で、不純物価は「スターヒル」より低く、品質は良好である。
  4. 抽苔耐性はやや強で「スターヒル」より弱く、耐湿性はやや弱で「スターヒル」より強い。
  5. 褐斑病抵抗性は中であり、「スターヒル」より強い。
- 栽培適地と奨励態度

道央、道南、道北、十勝、網走内陸部(抽苔に対する懸念のない地帯)に適應する。栽培上の注意は褐斑病に対する抵抗性は「スターヒル」より強いが、適期防除に留意する。その他の栽培法は「スターヒル」に準ずる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	サ ラ	5.84	18.73	1,095	97	104	101	89	1991~1993
	スターヒル	6.05	18.34	1,106	100	102	102	96	
	モノエースS	5.50	18.92	1,039	91	105	96	86	
	モノホマレ	6.04	17.95	1,081	100	100	100	100	
北 見 農 試	サ ラ	5.85	19.34	1,113	94	103	97	97	1991~1993
	スターヒル	5.80	18.94	1,098	93	100	94	105	
	モノエースS	5.63	19.63	1,103	90	104	94	90	
	モノホマレ	6.22	18.85	1,172	100	100	100	100	
中 央 農 試	サ ラ	8.38	17.67	1,480	98	103	101	92	1991~1993
	スターヒル	8.32	17.40	1,449	98	102	99	96	
	モノエースS	8.09	17.75	1,492	95	104	98	92	
	モノホマレ	8.52	17.11	1,458	100	100	100	100	
上 川 農 試	サ ラ	5.64	19.35	1,090	96	104	100	92	1991~1993
	スターヒル	5.72	18.84	1,077	98	101	99	104	
	モノエースS	5.32	19.57	1,040	91	105	96	91	
	モノホマレ	5.84	18.60	1,086	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農政部編, 平成6年普及奨励ならびに指導参考事項, 25-28(1994)。

(17) ハミング (系統名 H119) 1995年

登録番号：(北海道) てんさい輸交第38号

来歴 本品種はオランダのバンデルハーベ種子会社が、二倍体雄性不稔種子親系統「MOMS 52.13.4」に四倍体多胚花粉親系統「T 8/78」を交配し、1990年に育成した三倍体単胚の一代雑種である。1991年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、1992年から各種の試験を行い1995年に優良品種となった。

特性概要

1. 草丈はやや低く、葉姿はやや開平である。葉数は「メロディー」よりやや少なく、葉形はやや皮針形、葉身の大きさは中で「メロディー」並、葉柄長はやや短い。クラウンの大きさは「メロディー」並、露肩は「メロディー」よりやや少ない。根形は円錐形で、分岐根は少ない。
2. 根重は「メロディー」より多く「モノホマレ」並で、根中糖分は「メロディー」並の高糖分で「モノホマレ」

より高く、糖量は「メロディー」や「モノホマレ」より多い。

- 有害性非糖分はアミノ態窒素、カリウムは「メロディー」よりやや少なく、ナトリウムは「メロディー」並である。不純物価は「メロディー」や「モノホマレ」より低く、品質は良好である。
- 抽苔耐性は「メロディー」や「モノホマレ」並の強

で、耐湿性は「モノエースS」並の中である。

- 褐斑病抵抗性は「メロディー」並の弱である。

**栽培適地と奨励態度**

北海道一円に適応する。栽培上の注意は、褐斑病に対する抵抗性は弱なので、適期防除に留意する。排水不良な圃場では栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ハ ミ ン グ	5.94	18.07	1,066	101	103	104	94	1992~1994
	メ ロ デ ィ ー	5.73	18.14	1,032	97	103	100	95	
	モ ノ ホ マ レ	5.89	17.53	1,027	100	100	100	100	
北 見 農 試	ハ ミ ン グ	6.34	18.53	1,172	98	102	99	95	1992~1994
	メ ロ デ ィ ー	6.36	18.60	1,182	98	102	100	94	
	モ ノ ホ マ レ	6.49	18.20	1,178	100	100	100	100	
中 央 農 試	ハ ミ ン グ	8.18	16.83	1,374	103	101	104	96	1992~1994
	メ ロ デ ィ ー	7.74	17.01	1,309	97	102	99	94	
	モ ノ ホ マ レ	7.97	16.65	1,324	100	100	100	100	
上 川 農 試	ハ ミ ン グ	6.17	18.44	1,135	99	104	103	87	1992~
	メ ロ デ ィ ー	5.99	18.42	1,097	96	104	99	97	
	モ ノ ホ マ レ	6.26	17.71	1,104	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部編, 平成7年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12(1995)。

(10) ストーク (系統名 Kawe-J039) 1995年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第39号

**来歴** 本品種はドイツのクラインワンツレーベン種子会社が、二倍体単胚雄性不稔系統「MS7H9882」に四倍体多胚系統「PS7X8041」を花粉親として交配し、1988年に育成した三倍体の単胚一代雑種である。1989年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、1990年から各種の試験を行い1995年に優良品種となった。

**特性概要**

- 草丈は中で「モノエースS」並、葉姿はやや開平である。葉数は「モノエースS」と同程度で、葉形は楕円、葉身の大きさは中で「モノエースS」並、葉柄長は中で「モノエースS」並である。クラウンは小さく「モノエースS」並、露肩は「モノエースS」よりやや少ない。根形はやや短円錐形であり、分岐根は少ない。

- 根重は「モノエースS」より多く「モノホマレ」より少なく、根中糖分は「モノエースS」並の高糖分で「モノホマレ」より高い。糖量は「モノエースS」より多く「モノホマレ」並である。

- 有害性非糖分はアミノ態窒素が「モノエースS」より高く、カリウムは「モノエースS」よりやや低く、ナトリウムは「モノエースS」よりやや高い。不純物価は「モノエースS」よりやや高いが、「モノホマレ」より低く、品質は良好である。

- 抽苔耐性は「モノエースS」や「モノホマレ」並の強で、耐湿性は「モノエースS」並の中である。

- 褐斑病抵抗性は「モノエースS」並の弱である。

**栽培適地と奨励態度**

北海道一円に適応する。栽培上の注意は、褐斑病に対する抵抗性は弱なので、適期防除に留意する。根腐れの発生することがあるので、排水不良な圃場では栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10 a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10 a)	対「モノホマレ」比 (%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ス ト ー ク	6.05	18.12	1,090	96	105	100	97	1990~1994
	モノエースS	5.78	18.06	1,040	91	105	96	90	
	モノホマレ	6.33	17.23	1,086	100	100	100	100	
北 見 農 試	ス ト ー ク	6.19	18.89	1,165	95	104	100	86	1990~1994
	モノエースS	5.93	18.80	1,109	91	104	95	88	
	モノホマレ	6.49	18.10	1,170	100	100	100	100	
中 央 農 試	ス ト ー ク	8.52	17.60	1,499	100	105	105	85	1990~1994
	モノエースS	8.09	17.34	1,400	95	104	98	92	
	モノホマレ	8.52	16.69	1,422	100	100	100	100	
上 川 農 試	ス ト ー ク	6.11	18.91	1,151	98	105	103	90	1990~1994
	モノエースS	5.63	18.98	1,066	90	105	96	90	
	モノホマレ	6.23	18.00	1,116	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部編, 平成7年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14(1995)。

## 2. ひまわり

(1) ノースクイーン (系統名 北交2号) 1994年

登録番号: (北海道) ひまわり北海道交第1号  
(農水省) ひまわり農林1号

**来歴** 本品種は農林水産省北海道農業試験場において、早生、高含油、多収性の品種育成を目標に、1988年に細胞質雄性不稔系統「ADY-4」を母として、稔性回復系統「ADK-4」を父として交配し育成した単交配の一代雑種である。

### 特性概要

1. 頭花は単性、筒状花は横向きで、頭花径は「DO-707」よりやや小さい。茎の緑色程度は淡緑で、葉形は心臟形、葉色は淡緑、葉縁は鋸歯で不規則である。
2. 種子の色は黒色で、斑紋はなく長卵型である。
3. 油料用の早生種に属し、莖長は「DO-707」に比べ30cm程高く、やや長稈である。開花期及び成熟期は「D

O-707」と大差なく同程度である。

4. 倒伏程度は「DO-707」と同程度のやや強で、菌核病の被害は「Sunwheat-101」と対しなく、「DO-707」と同程度である。
5. 子実収量は「DO-707」に比較して多収であるが、粗油量は含有率がやや低いため「DO-707」と同程度である。
6. 脂肪酸組成の主成分であるリノール酸は「DO-707」と同程度であるが、アルファトコフェロール (ビタミンE) の含量はやや少ない。

### 栽培適地と奨励態度

北海道一円に適応する。栽培上の注意は、菌核病は適期防除に努める。発芽、成熟期に鳥害防止対策を講じる事が望ましい。その他栽培法は「ひまわりの標準栽培法」(1987) に準ずる。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	莖 長 (cm)	頭花径 (cm)	倒 伏 程 度	菌核発 病株率 (%)	子実重 (kg/10 a)	同左比 (%)	含油率 (%)	粗油量 (kg/10 a)
北海道農試	ノースクイーン	7.28	9.4	171	17.3	無	15.9	284	108	47.3	134
	DO-707	7.28	9.4	139	19.9	無	13.8	264	100	49.3	131
	Sunwheat 101	7.23	8.28	87	15.3	無	23.3	188	71	41.9	78



試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	莖 長 (cm)	頭花径 (cm)	倒 伏 程 度	菌核発 病株率 (%)	子実重 (kg/10 a)	同左比 (%)	含油率 (%)	粗油量 (kg/10 a)
中央農試	ノースクイーン	7.24	9.3	157	16.3	少	22.1	328	107	44.1	139
	DO - 7 0 7	7.21	9.4	116	17.0	少	26.2	307	100	46.5	138
	Sunwheat 101	7.20	8.28	79	12.3	無	25.1	312	102	41.3	127
北見農試	ノースクイーン	8.1	9.16	170	15.3	少	27.8	239	112	48.3	114
	DO - 7 0 7	7.31	9.18	141	17.4	中	30.8	213	100	51.6	110
	Sunwheat 101	7.27	9.5	89	12.8	無	41.1	168	87	44.5	75

注) 試験年次：1991～1993年

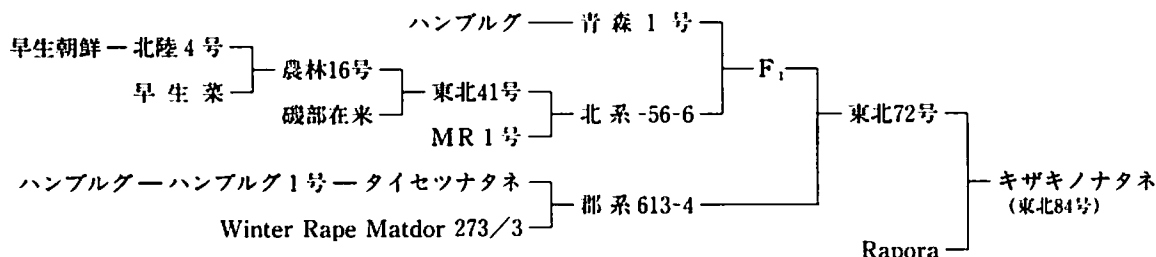
参照 1) 北海道農政部編, 平成6年普及奨励ならびに指導参考事項, 28-30(1994)。

### 3. な た ね

- (1) キザキノナタネ (原名 キザキノナタネ) 1992年  
登録番号：(北海道) なたね移第5号：  
(農水省) なたね農林47号

来歴 本品種は農林水産省東北農業試験場が「東北74号」を母, 「Rapora」を父とした雑種後代から選抜, 固定

され「東北84号」の系統名で各種の試験を経て平成2年に青森県を採用県として農林登録され「キザキノナタネ」と命名された無エルシン酸品種である。1987年に中央農業試験場が「東北84号」の配布を受け, 1988年から各種の試験を行い, 1992年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



#### 特性概要

1. 草型はIIIで, 草丈は長であるが「タイセツナタネ」よりは20cm程度短い。分枝数は少で「タイセツナタネ」並である。穂長は長であるが「タイセツナタネ」よりは短い。1穂莢数は多く, 「タイセツナタネ」よりやや多い。莢長は「タイセツナタネ」よりは短い。1莢結実数は多く, 「タイセツナタネ」並である。粒色は黒色で, 粒の大きさは「タイセツナタネ」よりやや小さく, 揃いは良い。
2. 抽苔性, 開花期は「タイセツナタネ」より早い, 成熟期は「タイセツナタネ」より1～2日遅い 中晩生種である。
3. 耐倒伏性は強で「タイセツナタネ」より倒伏が少ない。
4. 子実収量は「タイセツナタネ」より10%も優る多収

- 性で, 含油率は「タイセツナタネ」より1～2%高い。脂肪酸組成は, 「タイセツナタネ」は全脂肪酸に対して40%程度のエルシン酸を含むが, 本品種は無である。
5. 冬損及び菌核病抵抗性は, いずれもほぼ「タイセツナタネ」並である。

#### 栽培適地と奨励態度

北海道一円に適応する。栽培上の注意は, 自然交雑により脂肪酸組成中にエルシン酸がとり込まれる恐れがあるので, 高エルシン酸品種及びなたねと交雑可能なアブラナ科植物から十分隔離して栽培する。種子は無エルシン酸であることを保証したものを使用し, 播種適期は9月上旬であり, 適期播種に努める。耐倒伏性に勝るが, 春季追肥の窒素量をやや多肥 (10 a 当たり12kg程度) とすると生育が旺盛隣, 収量が高まる。雪腐病防除が必要である。

試験場名	品 種 名	成熟期 (月日)	越冬 株 率 (%)	倒伏程度		草 丈 (cm)	第1次 分枝数 (本)	総莢数 (莢/個体)	子実重 (kg/10a)	同左比 (%)	千粒重 (g)
				茎	穂						
中央農試	キザキノナタネ	7.15	93	無	無	110	7.4	170	241	111	4.2
	タイセツナタネ	7.14	97	無 少中	無 少多	134	7.4	168	217	100	5.3
センター	キザキノナタネ	7.8	(97)	無	無	116	9.4	(209)	367	100	4.0
	タイセツナタネ	7.7	(100)	無 無微	無 無少	149	9.6	(203)	368	100	4.9
上川農試	キザキノナタネ	7.11	87	無	無少	113	7.2	169	221	119	3.9
	タイセツナタネ	7.10	91	無 無少	無 微中	143	6.5	145	186	100	5.0
北見農試	キザキノナタネ	7.25	97	無	微	132	7.2	167	269	116	4.8
	タイセツナタネ	7.23	99	無	多	157	6.9	134	231	100	5.9

注 1) センターは北海道立植物遺伝資源センターである。

2) 試験年次：中央農試は1988～1990年，植物遺伝資源センターと上川農試は1989～1990年，北見農試は1990年である。

3) ( ) 内は1990年の値である。

参照 1) 北海道農政部編，平成4年度普及奨励ならびに指導参考事項，27-30(1992)。